

＜令和4年度 杵築市財政状況市民説明会（杵築会場）質疑応答＞

Q 1.

次代を担う子どもたちを安心して生み育てていける環境の整備が大切なことと思っております。そこで、近隣2市1町で令和4年度の当初予算で杵築市が劣っている点、他市よりもすぐれている点を簡潔に答えていただきたい。

本屋についての問題を検討されたのかどうか。検討したのであれば、問題点は何か。課題解決に向けて何が必要かということをお答えいただきたい。

過去の、道の駅に関するコンサルタント委託料が一体幾らであったか？また、新たな道の駅の建設を考えるつもりがあるのかどうか。

A 1.（企画財政課長）

子育て環境については、人口27,000人の中で病児保育所が二つあるという点だと思えます。病児保育は、移住者からも他市の状況に比べ、より良い環境にあると言われております。また、高校生までの医療費無償化も実施します。

子育てに関しては、国の方も人口減少と出生率を重視しています。杵築市においても令和5年度に向けて、独自の対策を考えています。

自治体で形態が異なりますので、比較することはあまりしておりませんが、市民の相談体制では全世代を対象とした「まるっと」があり、環境は劣ってないと考えています。

委託料については、資料を持ち合わせていないので、正確な数字は分かりませんが、国の補助金を活用しています。

A 1.（教育長）

書店について、立場としては現在の市立図書館の役割を大切に、一般市民や子供のために図書館運営を行っていくという考えです。

A 1.（市長）

道の駅調査については、国費を活用し行いました。無駄にはしてないと思えます。

道の駅は、売れるものを作らなければならない。その中で、杵築市には、海のものや山のものなど、非常に良い地域資源があり、非常に評価を受けています。

道の駅は、皆さんの意見や議会との協議により、必要となれば調査資料はありますので、住民自治協議会などにおいて、高齢者やハンディキャップがある方が頑張れる仕組みも見据えながら検討していきたいと考えています。

Q 2.

委託料の金額についてと、市長にとって道の駅が必要だと考えているかどうか。その2点、についてお願いします。

A 2. (企画財政課長)

正確な数字は資料を持ち合わせていないので分かりませんが、1000万円程度だったと思っています。

A 2. (市長)

市民の皆さん方の意見を聞きながら協議をしていきたいと考えております。

Q 3.

コミュニティバス・温泉の浴場・ケーブルテレビの料金が値上りし、長寿祝い金は大幅に減額した。有害鳥獣の駆除奨励金というのもいきなり減額した。低下させた市民サービスを早く復旧していただきたい。

また、中期財政収支というのを見ると将来に向けて楽観できるものではない。将来を見据えて対応していただきたい。

A 3. (企画財政課長)

財政状況は、歳入面で見ると、経常収支比率が100を超えた令和元年度と同じぐらい低い水準です。この間、繰上償還等を行いながらサービスを提供してまいりました。以前のサービスでは、単年度収支が赤字で、その赤字を穴埋めするために基金を崩してサービスを続けてきましたが、この状況を脱するために使用料等を改定させていただきました。しかし、今後も歳入が減少することが見込まれる中で、中期財政収支を見ても少し厳しい状況かと思えます。国が経済対策を行う中で若干改善もすると思えますが、結果的にはその対策がなくなると、また厳しい状況になっていきます。

大分県内も同じような状況で、経常収支比率が95%を超える自治体が多くなるのではと思います。そのような中でコロナ禍ということもあり、何とか財政を改善していこうと考えています。

Q 4.

職員の体質について伺いたい。職員の給料カット、職員数がちょっとずつ減って、残業も規制されて、苦しいのかも知らないけれど、手抜きが多い。今後、誠意を持って対応してください。そうすれば市民も協力します。

教育長にも一つ質問があります。中学校の資金の無駄遣いについてわかる範囲でいいですからお願いします。

A 4. (総務課長)

市職員に対して、そういう印象をお持ちになるということに対し、非常に申し訳なく思っています。今後、職員数を増員することもできず、人口減少に沿って減員になると思います。このため、職員の質を上げていき、市民の負託にこたえるような職員を育成していくことが私の仕事、一番大きな仕事だというふうに考えております。

A 4. (教育長)

建設に係る検証委員会を開催し、内容の検証をしているところです。

Q 5.

大分県の中で、杵築市は太陽光が一番多いと思う。太陽光の固定資産税の償却資産税について、七、八年前からの伸び率はどれくらいなのか？

錦江橋の架け替えで、当初計画から3倍上がっている。市議会議員はちょっと責任を感じてほしい。

A 5. (企画財政課長)

固定資産税は評価替えにより減少しますが、償却資産は太陽光の関係で減少幅が少ないというのが現状です。伸び率は、資料を持ち合わせていないことから分かりません。

錦江橋につきましては、全体事業費約23億円です。

Q 6.

風の郷について、杵築市公式ウェブサイトに掲載している指定管理業者が、令和3年4月から令和8年までの契約を行っていたが、令和4年1月で指定解除申し出があったということで、これはなぜですか。

それと、この収支の報告で赤字部分はどこかが補填したのでしょうか。

A 6. (総務課長)

一番の原因は、新型コロナウイルス感染症であると思っています。コロナ禍による入湯客や宿泊客が激減したことです。

市として、補填は行っていません。指定管理者が対応されています。

Q 7.

企業撤退跡地を再利用するなど、撤退企業に言って、解体して更地に戻すなど、市は言えないのか。

A 7. (企画財政課長)

跡地については、企業の所有です。関係機関と協議を行っている状況です。

Q 8.

本屋がない市町村の方が県下でも少ない。難しいのはわかりますが、何が課題か、課題に向けてそれを解決するにはどうすればいいか検討してください。

A 8. (教育長)

他市などのケースを検証したいと考えています。

Q 9.

杵築市は毎年、納税を怠った人に差し押えを行っていますが、水道料の集金率・水道料の支払い、滞納者に対して、市としてどのように対応しているのか。

A 9. (企画財政課長)

税については、地方税法により強制徴収が可能です。水道料は強制徴収できない料金です。滞納者への対応として、閉栓を実施しています。

正確な数字が手元にありませんが、令和元年度は全体 91.51%、令和 3 年度 92.57%だと思います。

Q 10.

12 月の補正予算の中に、風の郷の修理費が予算化されたように伺っておりますが、費用対効果の面を見た場合に、非常に多額の給湯費がかかるところを、次から次へと市税を投入して、これを維持する必要があるのか。以前から、風の郷の温泉にはかなりの費用が投入されているが、経過がわかれば教えていただきたい。

A 10. (総務課長)

風の郷の温泉は、ポンプアップで、温泉経費が施設の中で多い部分です。

12 月補正の経緯としては、ポンプアップによる温泉経費が非常に多い状況から、施設のボイラー等リニューアルによる経費削減を行う対策を講じるためです。

Q 1 1 .

現在の風の郷の温泉利用料は 1 人当たり 400 円前後の金額と思いますが、これ以上に上げることはちょっと一般的に見ても厳しいと思われます。これだけの費用をかけて、今後運営が潤沢にいくのかどうか、そういった見通しがわかれば教えていただきたい。

A 1 1 . (総務課長)

風の郷の運営に対して、運営費を支出したという経緯はありません。

リニューアルによる指定管理者を募集しても、その運営責任の中でやっていただくという考えです。